



心温かな春に向かって

校長 椎名 哲也

梅の花がきれいに咲き誇る頃となりました。正門で本校児童を迎えたり、送り出したりする旗振り活動。私が担当するようになって3年目が終わろうとしています。1月の終わりごろから正門の桜の木の花芽が膨らみだしてきていることに気付きました。天気がよい朝に正門から見える富士山は本当に美しく、思わず子どもたちに美しく輝く富士山を紹介してしまう朝も多くありました。横浜市には330を超える小学校がありますが、学校の正門から富士山を望むことが出来る学校はそれほど多くはないと思います。これは本校の魅力の一つです。校庭の芝生も、日本たんぽぽも、給食のご飯を学校の中で炊いていることも、地域の方々为本の読み聞かせに来てくださることも、横断歩道を安全に渡れるように保護者や地域の方々が助けてくださっていることも、隣に中学校があることも…。小山台小には魅力がいっぱいあります。私から児童の皆さんにお願いしたいことをまとめてみました。



- ① 小山台小学校の魅力をさらに見つけて引き出していくこと、そして小山台小に通っていることをもっともっと自慢してほしいということ。みんなが集い学び合う小山台小学校をいつまでも大切にしてほしいです。
- ② 前を向き、未来に向かって歩むことはとても大切なこと。でも、加減することも大切です。息切れしてしまったときは、思い切って自分が歩んできた道を振り返ってみるとよいと思います。
- ③ 周りの人とのコミュニケーションは大切です。まずは挨拶をしっかりするように、心がけてほしいです。

6年生は進学しますが、ときどき元気な姿を見せて、在校生に様々な助言をお願いします。また、在校生は振り返ることによって自分の成長に自信をもち、さらに力強く生きていってほしいです。休み時間などを活用して、力を合わせて学年活動に励む姿に本当に感心させられました。

あと1か月、あっという間に4月になります。小山台小の子どもたちが地域を創る大きな力の源になることを私は夢見ています。地域・保護者の皆様にも、心温かな春に向かって力を合わせて歩みを進めていく子どもたちへのご支援ご声援を、今後もよろしくお願いいたします。



子どもたちの学校生活の様子については、小山台小学校のホームページ「学校日記」に随時掲載しています。ぜひご覧ください。

